

Change the Future

～技術と想像力で新時代に新価値を提供します～

部品製造事業の「深化」

モビリティ事業の「強化」

新領域事業の「探索」

平素より株主・投資家の皆様におかれましては、当社の事業運営に格別のご支援を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。さて、第71期の年次報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。



代表取締役 社長執行役員
田中 英一郎

第71期を振り返って

当連結会計年度における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の悪化が、ワクチンの普及により、回復傾向となりましたものの、新たな変異株発生による感染再拡大等の懸念材料により、先行き不透明な状況で推移してまいりました。取引先である自動車業界は、更に半導体不足等による顧客における生産調整等も重なり、前期までの回復には至りませんでした。

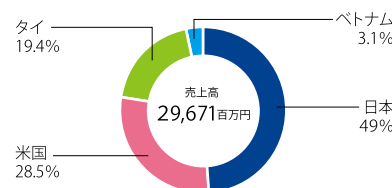
こうした状況の中、当社グループとしては、2030年ビジョン「Change the Future ～技術と想像力で新時代に新価値を提供します～」のもと、事業開発の強化と既存事業の強化に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、半導体不足等による顧客における生産調整等はありませんでしたが、景気回復等による受注増加及び為替換算影響により、増収となりました。損益につきましても、増収効果及び総費用削減により、3年ぶりの黒字となりました。

【連結決算ハイライト】

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
決算年月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	38,115	32,004	26,041	29,671
営業利益	1,440	-320	-239	1,297
経常利益	1,652	-162	-197	1,291
当期純利益	484	-670	-571	373

【セグメント別業績】

	日本	米国	タイ	ベトナム
売上高	14,548	8,455	5,753	914
セグメント利益	898	△348	538	159



今後に向けて

今、自動車業界は、電動化の加速度的進展、CASE や MaaS に代表される自動車に対するニーズや価値観の変化といった大変革期にあります。当社グループはその影響の中で特に重要なものを次の通り認識しております。

- 脱炭素化により、当社の主力事業・製品である自動車部品事業のエンジン部品製造において長期的に社会的需要の低下が見込まれること。
- 主要顧客である本田技研工業株式会社が 2040年の四輪エンジン搭載車の販売をゼロにする目標を公表しており、同社グループからのエンジン部品の長期的な需要低下が見込まれること。
- デジタル技術の加速度的発展により、付加価値領域が機械部品から AI といったソフトウェアやセンサーに移行していること。

このように社会環境が大きく変化する中、当社グループは 2030年ビジョン「Change the Future ～技術と想像力で新時代に新価値を提供します～」の実現に向けて、中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）を策定しました。本計画では、「現在の中核事業である自動車部品製造事業の深化と新規事業の創出、モビリティ事業の強化の同時推進」を基本方針に掲げました。この方針に基づき 2030年ビジョンを達成するため、2022年4月よりこれまでの機能別の本部体制から事業部制へと組織体制を変更しました。既存の自動車部品製造事業を担う「部品製造事業部」、事業化の加速と新たな価値創造を担う「ソリューション事業部」を設置し、これに既存の自動車販売事業である「モビリティ事業部」を加えた3事業部制とし、各事業部がその役割に集中して取り組める環境の整備と成果の透明性を向上させてまいります。

本中期経営計画の実行を通じて、社会課題の解決に貢献するとともに中長期的な企業価値向上を実現してまいります。株主の皆様には、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 基本方針

本中期経営計画は、基本方針「現在の中核事業である自動車部品製造事業の深化と新規事業の創出、モビリティ事業の強化の同時推進」に基づき推進してまいります。

部品製造事業の「深化」

QCD（品質・コスト・納期）の深掘りでモノづくり領域の収益力強化

新領域事業の「探索」

モノづくりソリューションの事業拡大と新たな強みを開発し、中核事業へ

モビリティ事業の「強化」

BtoC事業としての有形・無形資産によるグループ内相乗効果の発揮

部品製造事業部

営業・技術開発戦略

- 顧客の拡大
- 電動車向け製品営業強化
- 軽量化、低コスト化
- 高機能製品開発

生産戦略

- スマートファクトリー化の促進
- 抜本的な生産拠点再編検討

人材戦略

- 役割人事制度の導入
- 人材マネジメントシステムの再検討

ソリューション事業部

「戦略事業」としての位置づけ

自動化設備事業

- モノづくりの現場で培った課題解決力

モータコア・モータ部品製造技術事業

- 独自の接着積層技術によるモータ高効率化およびモータ製造における生産性向上、環境負荷低減

営業・技術開発戦略

- 自動車産業に限定しない市場ニーズの調査
- 市場要求に応えるスピード
- 他社との業務提携の推進

人材戦略

- 多様性、柔軟性、自発性をより重視
- 社内異動、外部採用両面からの人材確保

モビリティ事業部

外部環境トレンド

- EV化の進展
- 少子高齢化
- 自動車の所有から利用へ

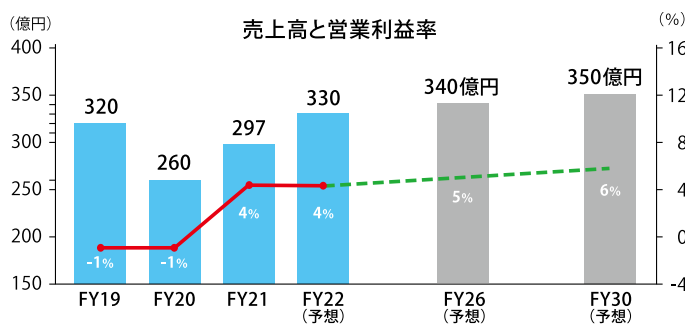
基本対応

- 設備投資、店舗投資
- デジタル技術の導入
- レンタル事業の拡大

モビリティライフ全般の提案

バイクや福祉車両のレンタルなど、自動車の所有から利用を見据えたサービス強化、幅広い世代へモビリティライフを提供しお客様との繋がり強化

業績目標



CO₂削減目標

- 2030年 CO₂排出量 △46% (2019年度比)
- 2050年 カーボンニュートラルの実現

取り組み分野	対応
1. 製品の利用におけるCO ₂ 排出削減	● EVやHEVなどの電動車向け製品の拡大
2. 生産におけるCO ₂ 排出削減	● 日常改善活動のさらなる推進 ● 設備更新時、新規導入時における最新の省エネ技術の積極導入
3. 生産における再生可能エネルギーの導入	● 地域特性に応じた再生可能エネルギーの活用

TOPICS

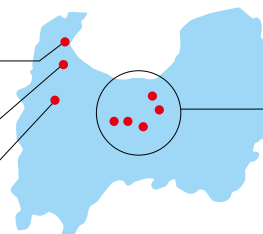
Topics -1

株式会社ホンダ自販タナカ 合併について

当社会社である、株式会社ホンダ自販タナカは、ホンダ製品販売にかかわる競争力強化のため、高岡ホンダ自販株式会社と合併契約を締結いたしました。より幅広くなった富山県でのネットワークを生かし、今まで以上のサービスをご提供できるよう努めてまいります。

Honda Cars「富山」店舗所在地

- 氷見店**
富山県氷見市窪 597-1
- 高岡駅前店**
富山県高岡市赤祖父 752
- 砺波山王店**
富山県砺波市山王町 11-14



- 清水店
- 掛尾店
- 新庄本町店
- 赤江店
- 婦中店
- Honda Dream 富山**

Topics -2

次世代のモータ製造技術“接着巻線”特許取得

この度、当社が開発を進めておりましたモータ製造技術“接着巻線”にて、特許を取得いたしました。

モータ製造時、鉄芯に巻き付けた銅線を固定する工程において、従来は銅線の隙間にワニスと呼ばれる薬品を含浸させる方法が一般的でしたが、“接着巻線”では銅線を巻くと同時に接着剤を均一に塗布する方法で行います。それにより、製造工数を従来の半分に削減し、用途に合わせて接着剤の塗布量を調節できるようになったことから性能の向上も実現いたしました。

また、当社は“接着巻線”の開発と並行し、有害物質や悪臭の発生を極めて低い数値に抑えた、環境負荷の低い接着剤も開発いたしました。

当社はこれらの技術を装置化し、作業環境の改善、作業工数の削減など様々なソリューションを提供していきます。2022年度中には、モータ製造メーカー様へ接着剤と装置の販売開始を予定しております。



開発中の接着巻線装置

Topics -3

2021年度 田中精密グループ受賞報告

お客様の表彰制度において、2021年度の当社活動に対し表彰を受けた各賞を報告いたします。今後もお客様に貢献し、信頼される企業を目指し、Q（品質）・C（原価）・D（納期）のさらなる向上に向けグループ一丸となって取り組んでまいります。

社名	田中精密工業株式会社	株式会社タナカエンジニアリング
顧客名	本田技研工業株式会社	アイシン軽金属株式会社
受賞内容	優良感謝賞 品質賞	特別貢献賞
	Honda 新車「紹介・購入」制度 感謝賞	



アイシン軽金属株式会社 取締役社長様(右)より来社

※AGV や洗浄機、テープ貼付け機などの専用設備を納入し、アイシン軽金属株式会社の生産自動化に大きく貢献したことが評価され受賞。

会社データ (2022年6月17日現在)

会社概要

商号 田中精密工業株式会社
 (英文社名) TANAKA SEIMITSU KOGYO CO., LTD.
 創業 1948年3月1日
 設立 1951年3月12日
 資本金 5億19万円
 従業員数 435名(連結:1,485名)
 事業内容 自動車部品製造販売
 主要販売先 本田技研工業株式会社、
 (株)アイシン福井、
 マツダ株式会社、川崎重工業株式会社、
 株式会社アイシン、スズキ株式会社、
 ヤマハ発動機株式会社 他

【取締役】
 代表取締役 田中 英一郎
 取締役 山田 勝也
 取締役 沖 健司
 社外取締役 今村 元
 社外取締役 高木 悦郎
 常勤監査役 稲垣 浩晴
 社外監査役 楠屋 泰三
 社外監査役 米屋 慎一

【執行役員】
 社長執行役員 田中 英一郎
 常務執行役員 山田 勝也
 執行役員 沖 健司
 執行役員 浅生 忠和
 執行役員 松本 智
 執行役員 伊井 雅博
 執行役員 高橋 睦
 執行役員 中西 智英

株式の状況

- ① 発行可能株式総数: 32,640,000 株
- ② 発行済株式の総数: 9,763,600 株
- ③ 株主数: 4,895 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率
本田技研工業株式会社	2,376	24.34%
田中共進会持株会	1,073	11.00%
田中一郎	584	5.99%
名古屋中小企業投資育成株式会社	527	5.40%
田中龍郎	519	5.32%
株式会社商工組合中央金庫	350	3.59%
株式会社北陸銀行	310	3.18%
株式会社富山第一銀行	270	2.77%
田中精密工業従業員持株会	190	1.95%
株式会社三菱UFJ銀行	160	1.64%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikeu/index.html フリーダイヤル: 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売却にあたっては、証券会社等に口座を開閉し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 広告掲載 URL (<http://www.tanasei.co.jp>)



TANAKA 田中精密工業株式会社

〒939-2617 富山県富山市婦中町島田328番地 TEL.076-469-9107(代表) FAX.076-469-6422